

『互いを認め合い、自ら学びあえる生徒の育成』

＜重点目標＞

◎授業で生徒を変える

「共有」・「協働」・「共育」を意識した教育活動の実践

＜学校経営方針＞

- ・「わかる」・「できる」・「かかわりあう」授業の実践
- ・「マナー」・「モラル」・「ルール」の守れる生徒の育成
- ・「人にやさしい学校」の創造
- ・「地域を大切にできる学校」の維持

＜具体的実践内容＞

- 「わかる」・「できる」・「かかわりあう」授業の実践
 - ・学習規律を定着させ、学習へ向けた積極的な姿勢を培う。
 - ・生徒がいきいきと学べる学習環境を整備する。
 - ・個に応じた指導も含め、きめ細かで粘り強い教科指導を行う。
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習活動の研究や実践を行う。
 - ・「学力向上チーム会」を中心とした分析と実践を着実にを行う。
 - ・「教科会」で情報の共有とよりよい授業に向けた協議を行う。
 - ・小学校との「教科連携」や「指導法連携」に向けた協議や実践をすすめる。
- 「マナー」・「モラル」・「ルール」の守れる生徒の育成
 - ・「考える道徳」の定着に向けて実践し、道徳的判断力を醸成する。
 - ・道徳の評価について研究・実践し、年に2回程度の保護者への評価提示を行う。
 - ・人権に関わる学習を月例化し、「人権道徳」や「人権学活」として行う。
 - ・校内外のマナー向上に向けた啓発的な取組を生徒会と協働しながらすすめる。
 - ・学校のきまりや法令遵守の態度を育成・定着していく指導を行う。
- 「人」・「物」・「環境」にやさしい生徒の育成
 - ・学年実態に応じたコミュニケーション活動を通して他者にやさしく関われる態度を育む。
 - ・生徒の自主性や意欲を高めていける生徒会活動をしっかりと支える。
 - ・「困り」のある生徒への支援やその方法の協議をすすめる。
 - ・省エネを意識した、環境にやさしい取組を実践する。
- 「地域を大切にできる学校」の維持
 - ・子どもの『学び』と『育ち』の姿を明確にしていく小中連携をすすめる。
 - ・地生連や地域の活動への積極的な参加をすすめる。